

2025 年度立教大学大学院給与奨学金・独立研究科奨学金 研究科ごとの詳細について（別紙）

○印は全員、●印は該当者のみ提出。

研究科	研究科の定める書類	選考基準
文学研究科	○研究計画書 ●博士前期課程 1 年次生のみ、学部時の成績証明書	研究成果(博士前期課程 1 年次生は学部の学業成績を含む)・将来性・勉学意欲
経済学研究科	○研究計画書 ○指導教員推薦所見 ●博士後期課程在籍者のみ、研究成果一覧(修士論文を含む。A4 判書式自由)	研究面で優れた学生。博士後期課程は、具体的な研究成果を有する学生を優先する。 ※同じ年度に他の奨学金を受給していない学生が優先される。 ※前年度または前々年度の本奨学金受給者については、受給以降の実績が考慮される。
理学研究科	○研究計画書 それまでの研究業績がある場合にはその内容を含む ○指導教員推薦所見 ○成績証明書(以下の内容のもの) ・博士前期課程 1 年次生は、学部時の成績 ・博士前期課程 2 年次生以上は、前年度までの成績 ・博士後期課程在籍者は、博士前期課程の成績	勉学意欲・人物
社会学研究科	○研究計画書 ○指導教員推薦所見 推薦所見欄の内容については不要 ●博士前期課程 1 年次生のみ、学部時の成績証明書 ●博士後期課程在籍者のみ、研究成果一覧(修士論文を含む。A4 判書式自由)	学業成績あるいは研究成果(特に博士後期課程在籍者) 研究計画および内容・勉学意欲 ※同年度に他の給与奨学金を受給していない学生が優先される。
法学研究科	○研究計画書 具体的な研究実績があれば資料として添付すること ○指導教員推薦所見 ●博士前期課程 1 年次生のみ、学部時の成績証明書	1 研究計画・学業成績(学部の成績。ただし、博士前期課程 1 年次生のみ) ・勉学意欲人物評価によって行う。 2 筆記による入学試験を受けた博士前期課程 1 年次生については、その成績を参考にする。 3 博士後期課程 1 年次生については、修士論文審査についての評価を参考にする。 4 博士前期課程ならびに博士後期課程の 2 年次生以上については、大学院での学業成績および研究の達成度を参考にする。

研究科	研究科の定める書類	選考基準
		<p>5 採用者決定において同点者が生じた場合には、博士後期課程 3 年次で論文執筆中の学生を優先する。</p> <p>6 正規の修業年限を越えた学生（博士前期課程 3 年次生以上、後期課程 4 年次生以上）については、選考において原則として第二順位とする。</p> <p>7 日本学生支援機構奨学金受給（出願）の有無については、選考において考慮しない。</p> <p>8 経済状況については、選考において考慮しない。</p> <p>9 指導教授の推薦所見のない場合は、選考の対象外とする。</p>
観光学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ○研究計画書 ○指導教員推薦所見 ●博士前期課程 1 年次生のみ、学部時の成績証明書 	研究計画・勉学意欲・学業成績（博士前期課程 1 年次生は学部の成績）・人物
コミュニティ福祉学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ○研究計画書 ○指導教員推薦所見 ●博士前期課程 1 年次生のみ、学部時の成績証明書 	研究計画・勉学意欲・学業成績（博士前期課程 1 年次生は学部の成績）・人物
スポーツウエルネス学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ○研究計画書 ○指導教員推薦所見 ●博士前期課程 1 年次生のみ、学部の成績証明書 博士後期課程 1 年次生のみ、前期課程の成績証明書 	研究計画・勉学意欲・学業成績（博士前期課程 1 年次生については学部の成績、博士後期課程 1 年次生については前期課程の成績）、人物
現代心理学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ○研究計画書 ●博士前期課程 1 年次生のみ、学部時の成績証明書 	研究成果（博士前期（修士）課程 1 年次生は学部の学業成績を含む）・将来性・勉学意欲
経営学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ○研究計画書 国際経営学専攻(MIB)所属生は研究計画書を英語で作成すること。 ○指導教員推薦所見 ●博士前期課程 1 年次生のみ、学部時の成績証明書 ●博士前期課程 2 年次生以上は、前年度までおよび学部時成績証明書 ●博士後期課程在籍者のみ、研究成果一覧（修士論文を含む。A4 判書式自由） 	学業成績あるいは研究成果・研究計画および内容・勉学意欲 ※同じ年度に他の給与奨学金を受給していない学生が優先される。
キリスト教学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ○研究計画書 ●博士前期課程 1 年次生のみ、学部時の成績証明書 	研究成果（博士前期課程 1 年次生は学部の学業成績を含む）・将来性・勉学意欲
異文化コミュニケーション研究科	<ul style="list-style-type: none"> ○研究計画書（1,000 字程度） 	勉学意欲・将来性・研究計画

研究科	研究科の定める書類	選考基準
ビジネスデザイン 研究科	○研究計画書（1,000 字程度） ●博士前期課程 2 年次生以上のみ、 前年度までの成績証明書	勉学意欲・将来性・研究計画、経済状況 （独立研究科奨学金のみ） ※研究計画書には、 1 大学院の進学もしくは研究の動機、 目的 2 調べたい内容 3 研究する（調べる）方法、費用 4 年度末までに達成できる目標 5 経済事情（独立研究科奨学金のみ） を記入すること。
社会デザイン 研究科	○研究計画書（1,000 字程度） ●独立研究科奨学金に出願する 博士前期課程 2 年次生以上のみ、 前年度までの成績証明書	研究計画・勉学意欲・将来性、経済状況 （独立研究科奨学金のみ） ※公共・社会デザイン学コース（MSDA Course）の学生は英語で作成すること。
人工知能科学 研究科	○研究計画書（1,000 字程度。 図表を掲載してもよいが、その場 合は別紙に作成し添付すること） ●修士・博士前期課程 2 年次生以上 のみ、前年度までの成績証明書	研究計画・勉学意欲・将来性、学業成績・ 経済状況（独立研究科奨学金のみ）

◎成績証明書(コピー可)について

立教大学（学部・大学院）出身者・在籍者は、「成績証明書」に代えて、「成績および単位集計情報」の提出でも可とします。

「成績および単位集計情報」は、教務部 Web サイト「成績参照システム」から、3 月中旬の成績発表日以降に出願前年度の最終成績を含む最新情報を、PDF ファイルで提出してください。3 月末頃には新年次に情報更新されますが、前年次・新年次いずれの表示でも可とします。

ただし、進学（学部→前期課程、前期課程→後期課程）すると前の課程の成績は参照できなくなるため、進学前の「成績および単位集計情報」を提出する場合は、当該課程在籍中に準備してください。

「成績証明書」は、原本または写しをスキャンし、PDF ファイルで提出してください。

画像不鮮明や欠け等により記載内容が判別できないものは受付できません。新入生は、前課程の最終成績が記載されたものを提出してください（卒業見込・修了見込のものは不可）。

立教大学（学部・大学院）在籍者が成績証明書を提出する場合は、4 月 1 日以降発行のものを提出してください（前学年の 3 月までに発行された成績証明書には、出願前年度の最終成績が反映されません）。

在学生スケジュール出願者で成績証明書の提出が求められている研究科は、

<在学生用 GoogleForm> : <https://s.rikkyo.ac.jp/seisekisyomeisyo2025> へ提出してください。

新入生スケジュール出願者で成績証明書の提出が求められている研究科は、他の出願書類とともに、<新入生用 GoogleForm> : <https://s.rikkyo.ac.jp/sinnyu2025scholarship> へ提出してください。提出期間は募集要項をご確認ください。

◎指導教員推薦所見について

- 1 「指導教員推薦所見」(Excel ファイル) に所属・氏名等を入力の上、指導教員に Email で送付し、推薦所見の作成を依頼する。
- 2 推薦所見は、指導教員が直接、学生部学生課専用提出フォーム(奨学金担当)
<http://s.rikkyo.ac.jp/suisensyoken2025> から PDF ファイルで送信するよう依頼してください。
その際、必ず提出期限もお伝えください。
※社会学研究科は、推薦所見欄の記入は不要ですが、提出する必要があります。
上記のフォームから PDF ファイルで送信するよう依頼してください。

◎研究計画書について

図やグラフを用いずに、日本語(※1・2)の文章で記入してください。ただし、人工知能科学研究科は、別紙にて図表の作成も可です。ビジネスデザイン、社会デザイン、人工知能科学、異文化コミュニケーションの各研究科は1,000字程度版(FormⅡ)、その他の研究科は400字程度版を用いてください。

(※1) 留学生は日本語か英語どちらかで作成してください。なお、経営学研究科国際経営学専攻(MIB/MPMA)および、社会デザイン研究科公共・社会デザインコース(MPMA)の所属生は、全員英語で作成してください。

(※2) また、英語の場合は日本語の文字数の半数のWord数で作成してください。

◎研究成果一覧について

経済学、社会学、経営学の各研究科の博士後期課程在籍者は、修士論文を含む研究成果一覧(A4判書式自由)の提出が必要です。

以上